



日頃行う患者さんの血糖測定
患者さんの耳朶の後ろに添えた
あなたの手

危険!!

医療・看護安全対策委員会情報 2010年5月号(No.73) 耳朶穿刺時の針刺し事故について

微量採血のための耳朶穿刺時に、穿刺針が耳朶を貫通し医療者の指を穿刺したという事故が複数報告されています。

(平成22年3月1日厚生労働省 医政指発0301 第1号薬食安発0301 第7号)

耳朶での採血について

血糖測定時に使用する穿刺器具で微量採血を行う場合、患者の希望により、耳朶での穿刺を行うことがあります。

医療従事者が患者の耳朶を指で支えて穿刺すると、穿刺針が耳朶を貫通し医療従事者の指を刺傷し、血液を介した感染が発生するおそれがあります。

以下に示す耳朶穿刺での針刺し事故を予防するための対応を参考に、貴施設でも検討してはいかがでしょうか？

1. 耳朶の貫通の恐れがある場合、他の組織の厚い部位での穿刺を検討する
2. 耳朶へ穿刺する場合、穿刺部位の裏側を直接指で支えない
3. 穿刺時の手袋着用を厳守する など

尚、この情報は日本看護協会HPの緊急安全情報（平成22年4月8日）を参考に掲載いたしました。次のURLをご参照下さい。

<http://www.nurse.or.jp/nursing/practice/anzen/pdf/2010/20100408.pdf>

☆お知らせ☆

「看護の日IN上五島」において医療安全のブースを設置いたします。
皆様お立ち寄り下さいませ。